

平成28年度 「全国学力・学習状況調査」相模原市の分析結果について

平成28年9月29日に文部科学省から提供された全国学力・学習状況調査結果について、相模原市の分析結果がまとめられました。

本調査は、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象とした教科に関する調査（国語、算数・数学）と生活習慣や学校環境に関する質問紙調査（児童生徒・学校）で行われました。この調査によって測定できる事柄は学校における教育活動の一側面に過ぎませんが、この分析結果を指導の充実に生かしていくことが大切と考えています。そこで、それぞれの調査から、特に課題のあった問題を取り上げ、課題の改善に向けた取組及び質問紙からみえてくる児童生徒の生活・学習習慣の傾向について検討しましたのでお知らせします。

今後、教育委員会といたしましては、この分析結果を生かしながら、児童生徒の学力や生活習慣の向上に向け、各学校の実態に応じた支援を行ってまいりたいと考えています。

また、子どもたちの健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が欠かせません。この結果をご家庭での生活・学習習慣の改善等にお役立ていただくとともに、今後とも各学校の取組へのご理解とご協力をお願いいたします。

《平成28年度「全国学力・学習状況調査」の概要》

- 実施日 平成28年4月19日（火）
- 対象 小学校第6学年及び中学校第3学年
- 目的
- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 内容
- ・教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - 主として「知識」に関する問題（A問題）
 - 主として「活用」に関する問題（B問題）
 - ・生活習慣や学校環境に関する質問紙調査
 - 児童生徒に対する調査
 - 学校に対する調査



はじめにお読み
ください！

はじめに・成果がみられる点と課題がみられる点・各教科の分析結果の見方

小学校・国語

小学校・算数

質問紙調査

中学校・国語

中学校・数学

課題の改善に向けた教育委員会の取組について

参考資料

相模原市教育委員会

全国学力・学習状況調査は、国が示す学力について児童生徒の学習状況を把握・分析し、教育施策の改善や学校における教育指導の充実、学習状況の改善に役立てることを目的としています。

今年度国語で求められた力（抜粋）

【小学校】

- ・漢字やローマ字を正しく読んだり書いたりする。
- ・目的や意図に応じて、収集した情報を関係付ける。
- ・複数の叙述を基にして捉える。
- ・目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように文章を書く。
- ・目的や意図に応じて、複数の本や文章を比べ、自分の考えを明確にしながらか読む。

など

【中学校】

- ・漢字を正しく読んだり書いたりする。
- ・話し手の提示した意図として適切なものを選択する。
- ・文語で書かれた言葉の意味を捉える。
- ・表現の工夫とその効果を捉えて書く。
- ・説明された文章を読み、よく分かるようになった部分と、どのようなことが分かったのかを書く。

など

今年度算数・数学で求められた力（抜粋）

【小学校】

- ・小数の計算を整数の計算に置き換える。
- ・単位量当たりの大きさを求める式を書く。
- ・全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合が一番大きいものを選ぶ。
- ・示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述する。
- ・グラフから読み取れる情報を根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述する。

など

【中学校】

- ・正の数と負の数とその計算、文字式の計算をする。一元一次方程式を解く。
- ・多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ。
- ・与えられた資料の最頻値を求める。
- ・前提となる条件を判断し、それが適している理由を表の数値を基にして説明する。
- ・付加された条件の下で、見いだした事柄について数学的な表現を用いて説明する。

など